

YAMAGATA★IBUKI Vol.126

山形 いぶき



YNA 夢・ナースング・愛



どんでん平ゆり園(飯豊町)

TOPICS

- ❖ 名誉会員・新役員あいさつ
- ❖ 訪問看護会館完成!
- ❖ 職能だより
- ❖ 「まちの保健室」事業
- ❖ 看護の出前事業
- ❖ 庄内支部活動
- ❖ 看護の日事業・夏まつり



平成26年度会員数
(7月30日 現在)

保健師	388
助産師	352
看護師	6,374
准看護師	239
計	7,353

第45回日本看護学会 —在宅看護—学術集会

- 期日:平成26年10月2日(木)・3日(金)
- 場所:山形テルサ(山形市)

多くの方のご参加をお待ちしています!

山形県看護協会ホームページ

<http://www.nurse-yamagata.or.jp>

県ホームページ「すまいる山形暮らし情報」
からもリンクできます。

山形県看護協会



機種によってはアクセス
できない場合があります

平成26年度山形県看護協会通常総会を終えて

副会長 松田光子



今年の通常総会が平成26年6月19日（木）に、出席者376名、委任状5,952名、合計6,328名のもと開催されました。

今年度の総会は、公益社団法人として平成25年4月から6つの訪問看護ステーション・3つの介護支援事業所、4つの支部とともに活動した平成25年度の事業内容と会計報告並びに平成26年度事業内容と予算についての報告、および定款一部改正と改選役員の議案について審議がなされました。審議の結果、すべて承認を得て平成26年度山形県看護協会事業がスタートしました。

総会終了後、保健師職能・助産師職能・看護師職能Ⅰ・Ⅱ研修会が3会場にわかれて開催され、各職能とも多くの参加者がありました。職能が抱える課題について日本看護協会常任理事を講師に迎え、講演や意見交換がなされ有意義な研修会となりました。

今年度の山形県看護協会重点事業として、1) 看護職が働き続けられる職場づくりの推進、2) 看護の質向上のための活動の場の強化と充実、3) 「日本看護学会—在宅看護—学術集会」の開催・運営・評価、4) 長期的な療養生活を支える在宅ケアの充実・強化、5) 「訪問看護会館」完成並びに運営体制整備、6) 職能委員会活動の充実・強化、7) 公益社団法人としての役割拡大、の7項目を掲げ、事業計画を立案しております。

教育計画では、72コース（75回）を計画し、管理者・教育担当者・指導者へ教育の拡大や介護・福祉・在宅領域の看護職のための学習支援、及び准看護師への学習支援などを重点とし、インターネット配信研修なども含めた多様な研修が企画されていますので、多数の参加を期待しております。

さらに今年度は、8月中旬に「訪問看護会館」の新築完成と、10月2日・3日に山形テルサを会場にした「日本看護学会—在宅看護—学術集会」の開催という大きな事業が控えております。今年6月の国会で、医療提供体制の構築と地域包括ケアシステムの構築に向けた「医療介護総合確保推進法」が成立した今、まさに時機を得た事業といえます。また、訪問看護会館は訪問看護ステーション機能の充実とともに、在宅ケアにおける多職種連携の推進に寄与することが期待されます。訪問看護会館と日本看護学会の成功に向けて、会員の皆様のご協力とご支援をよろしくお願いいたします。



代表の青木昭子さんに感謝状贈呈



意見交換もあり活発な総会に！

名誉会員の栄誉に感謝をこめて

日本看護協会名誉会員 横山洋子



この度の名古屋にて開催された平成26年度日本看護協会通常総会において、名誉会員として日本看護協会より推薦され承認されました。これは山形県看護協会より推薦されたお陰と感謝しております。

思い返せば、山形県にお世話になり始めて3年後には助産婦部会の教育委員としてお手伝いをさせて頂く事になり、平成22年までに山形県看護協会と日本看護協会の運営に関わって参りました。この間、多くの指導者に接する事が出来て英知を頂きました。山形県の看護界に安全で安心な看護を提供する為に全国レベルの研修を誘致し、看護過誤・医療事故を未然に阻止出来る看護の実力を獲得しなければなりません。常に進歩し続ける医療界に対応していくために、揺るぎない高度の知識と技術、その上強い精神力を培う事ができる様全国レベルの教育内容を充実させる必要性を実感して参りました。そんな折、会員皆様の絶大なるご賛同を頂き研修会場を兼ね備えた会館を建設することが出来ました。更なる看護の質の向上を願っています。

待ち望んだ「訪問看護会館」完成!!

訪問看護総括理事 鈴木郁子

建設工事は順調に進み、訪問看護の拠点となる「訪問看護会館」が見事に完成しました。

職人さん達はこの暑い中、滝のような汗を流しながら作業をしてくれ予定より早く工事が進みました。壁や内装、家具等設置ができると、楽しみで何回会館に足を運んだことでしょう。会館の外壁に会館名が入り、こんなにも立派になりました。



▲会館全景

研修室▶



▲完成した訪問看護会館前で



榮大建設社長から
川村会長へ引き渡し▼

【会館の進捗状況】

- ・8月7日(木) 主事検査 山形市役所届け出
- ・8月8日(金) 消防検査 施工主検査
- ・8月12日(火) 会館引き渡し
- ・8月19日(火) 会館取扱い説明
- ・8月30日(土)・31日(日) 引っ越し
- ・9月5日(金) 新築完成に伴う内覧会並びに落成式

新役員あいさつ

＊副会長の任について



副会長 原 ゆかり

この度、副会長として山形県看護協会の事業に係る事となり、責任の重さに身が引き締まる思いです。

山形県看護協会のあるべき姿（基本姿勢）「地域とともに築く看護」YamagataのY→「夢」、

NursingのN→「ナーシング」、AssociationのA→「愛」のもと、私たち看護職の資質向上と、安心して働き続けられる環境づくりに微力ながら努めてまいりますので、宜しくお願いいたします。

＊常任理事としての抱負



常任理事 井上 栄子

団塊の塊の世代が75歳になる2025年に向けて、医療提供体制の再構築等、変化する時代です。その中で看護職の役割は益々高まっています。その期待に応えることができるように、看護職が働き続けられる環境づく

りへの貢献と、看護の質の向上に向け、微力ながら努力して参ります。よろしくお願いいたします。

＊書記理事に就任して



書記担当理事 青木 弘子

この度、書記理事を担当することになりました。山形県看護協会の担う事業や役割を改めて認識し、責任の重さを感じていますが、精一杯努めていきたいと思っています。よろしくお願いいたします。

＊新役員になって



会計担当理事 阿部 洋子

今年度より、会計理事の仕事をさせていただくことになりました。わからない事ばかりで不安もありますが、精一杯努めたいと思っております。どうぞよろしくお願い致します。

＊監事の任について



監事 柴崎 洋美

山形県看護協会は公益社団法人として2年目を迎え、さらなる役割拡大が求められています。そんな中で監事という重大な任務に就くことになり責任の重大さを感じています。初めての経験で不安でいっぱいですが、先輩方の指導をあおぎながら頑張っていきますのでよろしくお願い致します。

＊外部監事に就任して



外部監事 鈴木 光弘

6月の通常総会で選任をいただき、外部監事に就任いたしました。早速、理事会に出席しましたが盛り沢山の内容に看護協会の熱い思いを感じました。事務長経験12年を生かし、微力ながら貢献できれ

＊つながる



最北支部理事 奥山 明美

支部長をお受けし戸惑っているところですが、看護の安全・質の向上をめざし、働く私たちが元気でイキイキ働き続けられるよう三職能と連携し、つながり語りあえる支部会活動ができるよう頑張っていきたいと思

＊会員の皆様とともに



庄内支部理事 佐藤 三紀

このたび庄内支部長をお引き受けることになりました。責任の重さに身の引き締まる思いです。

新たな庄内支部となり2年目をむかえ、更に充実した体制づくりが期待されています。看護職の皆様が健康で生き生きと働き続けられるように、会員の皆様の意見を聞きながら、会員の皆様とともに支部活動を展開していきたいと思

＊支部活動の充実を目指して



置賜支部理事 佐々香代子

支部活動がスタートし、改めて責任の重さに身が引き締まる思いです。会員の皆様のご意見をいただきながら、ニーズに沿った活動を推進してまいりたいと思います。山形県看護協会の事業推進に、微力ですが頑張りますのでご指導よろしくお願い致します。

保健師 職能だより

保健師職能委員

委員長	鈴木 ちはる	自宅
山形支部	會 田 文	中山町役場
山形支部	吉 田 美智子	山辺町役場
最北支部	野 崎 由紀子	新庄市役所
庄内支部	荒 生 佳 代	酒田市役所
庄内支部	土 田 里 美	庄内保健所
置賜支部	佐 藤 智香子	南陽市役所



委員長 鈴木ちはる



平成 26 年度も保健師の専門性発揮と質向上に向けて活動していきます。所属の枠を超えて情報を発信し共有することも重要です。皆様のご意見、ご協力よろしくをお願いします。

研修会報告（平成 26 年 6 月 19 日通常総会後に開催、40 名参加）

日本看護協会常任理事で保健師職能委員長の中板有美氏を講師に迎え、「保健師活動指針ガイドについて一考えて、創造して、実践できるために」と題し講演をいただきました。

「地区分担制の推進」や「統括的な役割を担う保健師の配置」、「保健師の現任教育」、「保健師が今後取り組むべき方向性」等の考え方やリアルタイムの保健・医療・福祉の動向など多くの示唆を含んだ内容で熱く語っていただきました。「ガイド」を効果的に活用し、地域で働く保健師が新指針のポイントを十分に理解しながら、今、置かれている組織体制を見直して活動全般が活性化し効率的に業務が遂行できるようにしたいものです。

「ガイドが読みやすく、現場ですぐに活用できる」「保健師活動の見える化を学んだ」「地区分担・地域包括等のことを考えていたのでタイムリーな内容、職場で共有したい」「現場活動の重要性を再認識でき、仕事への意欲につながった」「自らが成長し続けること、心のエネルギー補充ができた」等その他、多くの感想が受講者から寄せられました。

第 2 回保健師職能研修会のお知らせ

日 時：平成 26 年 11 月 22 日（土）10：00～16：00

会 場：山形県看護協会

テーマ：保健指導ミーティング～地域・職域につなげる保健活動スキルアップ～

内 容：1 講演 10：00～12：00 「今、求められるソーシャルキャピタルの視点」
講師 東北大学大学院 客員教授 平野かよ子
2 実践事例報告 13：00～14：00
・市町村の健康分野の保健師・地域包括支援センター保健師・産業保健師
3 実践事例の検討（ワールドカフェの手法を用いて検討しましょう）

対象者：新任期及び指導保健師（プリセプター）

◆ 山形県と共催で実施、日本看護協会の事業を活用予定

「山形県保健師活動のあゆみ」が発刊されました。

山形県看護協会図書室に置いてありますので、機会がありましたらご覧ください。



助産師 職能だより

助産師職能委員

委員長	牧 由 美	鶴岡市立荘内病院
山形支部	岸 あき子	山形済生病院
山形支部	間 宮 寿 美	山形県立中央病院
山形支部	遠 藤 美 和	天童市民病院
最北支部	堀 米 ふみ子	山形県立新庄病院
庄内支部	高 橋 美 樹	日本海総合病院
置賜支部	片 倉 恵美子	公立置賜総合病院



委員長 牧 由美



助産師職能の抱える問題を明らかにし問題解決に向け活動して行きます。今年度は、助産実践能力習熟段階（クリニカルラダー）の普及と平成 27 年度よりスタートするレベルⅢ認証受審推進に向けて取り組んでいます。まだまだ県内では十分な周知がされていない状態もあり、会員の皆様のご意見とご協力をお願いします。

第 2 回助産師職能研修会のお知らせ

日 時：平成 26 年 11 月 15 日（土）

テーマ：おかあさんと赤ちゃんにやさしいケアを目指して

講 師：直井 亜紀 先生（さら助産院）
母乳育児、ベビーマッサージなどの母子のケア、いのちのお話（誕生学）では多くの学校で講演をされています。多数の参加をお待ちしています。

看護師 職能Ⅰ（病院領域）だより

看護師職能委員Ⅰ

委員長	深 瀬 和 子	北村山公立病院
山形支部	久 下 敦 子	山形大学医学部附属病院
山形支部	松 田 幸 恵	山形県立河北病院
最北支部	中 里 ひろみ	山形ロイヤル病院
庄内支部	押 井 あけみ	鶴岡市立荘内病院
庄内支部	小 林 純 子	山形県立鶴岡病院
置賜支部	尾 形 千夏子	公立置賜南陽病院
全支部から	久保田 美 樹	天童温泉篠田病院
全支部から	横 山 真知子	吉川記念病院



委員長 深瀬 和子



看護師職能Ⅰ（病院領域）の抱える問題を明らかにし、問題解決のために活動していきます。

また、働き続けられる職場づくりの推進に取り組んでいきます。皆様のご意見、ご協力よろしくをお願いします。

【看護師職能Ⅰ・Ⅱ合同研修会】通常総会後に開催

テ ー マ：2025 年度問題に向かって看護師の果たす役割

「地域包括ケアシステムにおける看護職への期待」

～ケアの空白を埋めよう～

講 師：日本看護協会常任理事 齊藤 訓子

参加人数：256 名

内 容：日本の社会保障の現状や医療・介護政策の動向、介護施設・訪問看護の現状などの説明がありました。ケアの空白をなくすためには、退院支援の強化、医療従事者にしかわからない言葉は使わないことが大切である。そして顔の見える看・看関係構築が地域包括ケアを成功させるカギになると述べられました。看護師が医療・チームケアのキーパーソンになれるよう努力し、連携強化を図っていかなくてはいけないことを学びました。

参加者からは「他職種と連携をとっていきたい」「入院中の生活の中でもっと患者さんの暮らしを意識して関わっていきたい」「入院早期から退院支援を行いたい」「介護保険について学びたい」等の感想がありました。

看護師 職能Ⅱ（介護・福祉・在宅領域）だより

【看護師職能Ⅰ・Ⅱ合同研修会】通常総会後に開催

和やかな雰囲気の中難しい制度や看護職を取り巻く社会情勢を理解しやすく説明していただきました。今後は、暮らしの中に看護が必要になっていく、そのためには 1、ケアの空白を作らないことが大切で、退院支援の強化。医療従事者にしかわからない言葉を使わないこと。2、顔の見える看・看関係構築～介護施設ナース、訪問看護ナースとの顔の見える関係作り～が大切なポイントである。

参加者からは、「地域包括ケアの成否の鍵を握る看護師が医療・チームケアのキーパーソンになるように努力し、連携強化を図っていかねばならない。」と声が寄せられました。

今後の看護師職能Ⅰ・Ⅱの連携の必要性を示唆してくださるいい研修となりました。



委員長 岡田 陽子

新たな 3 年目スタートです！

まだまだ会員数も少ない状況ですが、現場から意見を発信していただき介護領域で働く私たち看護師が、安心して働き続けられる環境作りと専門性に基いた看護の質の向上のために看護師職能委員会Ⅱは活動をしていきます。

皆様のご意見、ご協力よろしくをお願いします。

参加お待ちしております。



一緒に学び、大いに語り合しましょう。

<第 2 回看護師職能Ⅱ>研修のお知らせ

日 時：平成 26 年 9 月 27 日（土）
10 時から 16 時

テーマ：「看取り」を支える

午前は、仙台往診クリニック 院長 川島孝一郎より講義
午後は、特養、老健、訪問看護施設より見取りの取り組みの実践報告とディスカッションを予定しています。

常任委員会

「まちの保健室」推進委員会が新たにスタート!!

事業課長 遠藤 志津子

平成26年度より「まちの保健室」推進委員会が常任委員会として活動を開始しました。

地域住民の健康づくりへの支援活動である「まちの保健室」事業の推進と実施のための基盤づくりを行うことを目的とします。活動内容は、

- 1) 「まちの保健室」事業の概要を把握する。
- 2) 「まちの保健室」運営マニュアルに基づいて、協会事業としての「まちの保健室」開催の企画をする。
- 3) 支部の「まちの保健室」運営委員会との連携
- 4) 「まちの保健室」ボランティアの育成について検討
- 5) 「まちの保健室」事業の広報活動



H24年度 飛島でのまちの保健室(栄養指導)



H24年度 飛島でのまちの保健室(リハビリ体操)

■平成26年度の実施予定

- | | |
|--------------------------|-------------|
| ① 平成26年 8月30日(土) 11時～14時 | ひまわり温泉ゆらら |
| ② 平成26年10月17日(金)～18日(土) | 飛島総合センター |
| ③ 平成26年10月19日(日) 10時～16時 | チェリアフェスティバル |
| ④ 平成26年11月中旬 | やましんフェア |

※支部の「まちの保健室」開催を支援していきます。



2014年「看護の日・看護週間」事業

『みんなで話そう 看護の出前授業』

6・7月県内の中学校・高校で実施!

実際に働いている看護職が学校を訪問し、講師として、「命の大切さ」や「生命の誕生」「看護職の仕事・役割、看護職になる方法」などに関する授業を行うことで、生徒に生命や性、キャリア形成、看護の仕事などへの理解と関心を促すことを目的として、県内では、6月3日から授業を開始しており、好評を得ております。

① 6月3日(火) 新庄東高等学校 1年生88名
講師：山形県立中央病院 助産師 石澤瑞美氏、矢口さなえ氏

④ 6月13日(金) 県立寒河江工業高等学校 1年生40名
講師：山形県立保健医療大学 助産師 菊地圭子氏

⑦ 7月10日(木) 金山町立金山中学校 1年生58名
講師：酒田市立八幡病院訪問看護ステーション 助産師 後藤敬子氏

② 6月6日(金) 天童市立第一中学校 2年生189名
講師：山形県立河北病院 助産師 生亀公子氏

⑤ 7月2日(水) 県立鶴岡中央高等学校 2年生280名
講師：鶴岡市立荘内病院 助産師 河田夏子氏

⑧ 7月10日(木) 県立新庄北高等学校 2年生200名
講師：山形県立河北病院 助産師 生亀公子氏

③ 6月11日(水) 県立寒河江工業高等学校 1年生79名
講師：山形済生病院 助産師 齋藤万代子氏
さとウイメンズクリニック 助産師 阿部庸子氏

⑥ 7月9日(水) 羽黒高等学校 1年生320名
講師：県立鶴岡病院 高橋純一氏
庄内保健所 田澤 縁氏

⑨ 7月18日(金) 大石町立大石田中学校 1～3年生215名
講師：山形県立中央病院 助産師 矢口佳奈氏



生活習慣気をつけてますか?



男女の心と体の変化わかったかな?



私たちはどこからやってきた?



大切に育てられていくんだよ

生徒の感想

- ・自分の命、両親の大切さ、つながりについて考えることができた。
- ・私が生きていられるのは、いろんな人の支えがあり、受け継がれた命のバトンがあるから!
- ・周りが教えてくれない聞きたいことを教えてもらってよかった。

<取材を通して>

「育ててもらおう立場」から「育てる立場」への心と体の準備について真剣なまなざしで聞き入っている姿が見られました。(県立寒河江工業高)

「奇跡の出会い＝いのち」、自分は選ばれた人、自分を大切に、周りも大切にできる人になって下さいと言う講師のメッセージ、生徒のみなさんにきっと届いたと思います。(金山中)

広報委員記



● 福島県「県外避難者の心のケア事業」●

「まちの保健室」支援者研修会を開催

常任理事 大竹 久子

標記事業について、福島県から平成25年度より受託しております。今年度は、山形市・米沢市に加え庄内地区の鶴岡市・酒田市においても、支援者(有志)による「まちの保健室」を開催しています。

7月28日(土) PM 支援者のスキルアップとネットワーク構築を目的に研修会を開催しました。

<内容> 講話 1……………「福島県の山形県内避難者の状況について」

講師：福島県生活環境部 避難者支援課 主任主査 中木 秀夫 氏

講話 2……………「福島市仮設住宅における1年間のボランティア活動を行って」

講師：鶴岡市立荘内病院 前看護部長 阿部 恵子 氏

演 習……………「ハンドマッサージの実際」

講師：山形市「わたなべ助産院」所長(助産師) わたなべせつこ 氏



講師の皆様を囲んで



ハンドマッサージの演習

健康お役立ち情報
シリーズ2 腰痛

腰痛で悩んでいる方はいらっしゃいませんか?
今回は「腰痛」の原因、症状と予防法についてご紹介します。

<腰痛の原因>

腰痛の原因の多くは、背骨の老化現象により、近くを走る神経を刺激してしまうことで起こります。

<腰痛の症状>

腰を反らしたり、前屈することにより、腰が痛いと感じる状態です。
大きく2つのタイプに分けられ1つは「急性腰痛(ぎっくり腰)」と呼ばれる腰痛。2つ目は常にジワジワと重い感覚や痛みがある「慢性腰痛」です。慢性腰痛には腰以外の病気が隠れている場合も考えられます。

<腰痛の予防>

- ☆ビタミンを摂取し、筋肉の疲労回復をはかる。
- ☆十分な睡眠と適度な休息。
- ☆同じ姿勢を長く続けない。
- ☆体重管理を行い、太りすぎ、やせすぎに注意する。

腰痛予防体操

1基本姿勢

- 1回の動作に5秒間位かけゆっくりと10回程度を目標として下さい。

- 体操は少なくとも3か月続けると効果的です。



- ①仰向けに寝て、両手はお腹の上に。
- ②ゆっくり鼻から息を吸い、口から出す(腹式呼吸)。

2膝かかえ体操



膝に両手をのせ力を入れずに、片足ずつかかえ込むように行う。

3胸そらせ体操



浅く椅子に腰をかけ両手をわき腹に当て、ゆっくりと背すじをのばし胸をはる。

へそのぞき体操

両足を肩幅程に開き、両手をわき腹に当てお腹に力を入れながらへそをのぞき込むように背中をまるめる。

支部活動報告

●庄内支部の活動状況

庄内支部長 佐藤 三 紀

酒田・鶴岡支部が統合し「公益社団法人山形県看護協会庄内支部」としてスタートして2年目となります。統合に際し、意見交換、検討を重ね1年目に土台を築いていただいたことにより、スムーズに2年目を迎えることができました。

今年度第1回研修会は6月28日（土）、三川町なのはなホールにて218名の方に参加いただき開催しました。初めに、山形県看護協会川村良子会長より「職能団体としての看護協会の役割について、平成26年度の活動について、看護職業人としての心構えについて」ご講演いただき、その中で医療職は、医療者中心；業務中心の医療ではなく、常にチーム医療；患者中心の医療ということを忘れてはならない、と心に刻みしました。次に日本ダイバーショナルセラピー協会 芹澤隆子先生より「ダイバーショナルセラピーについて～自分らしく意味のある生活を支援するために～」の講演をしていただきました。



熱心に聴講する会場の様子

たくさんの映像を見ながら、事例を聞きながら、「自分らしく、楽しく、生きぬく。」ヒントをいただき大変有意義な研修会でした。庄内支部では11月15日（土）第2回支部研修会を予定しています。

「まちの保健室」事業として鶴岡市・酒田市それぞれで、血圧測定、健康相談など地域の方々の健康づくりへの支援、地域の皆様とのふれあいを企画しております。

会員の皆様の意見が反映できる支部をめざし役員一同頑張っていきたいと思います。



川村良子会長

身振り手振りで講義される
芹澤先生

第45回 日本看護学会—在宅看護—学術集会

多数のご参加を!! 未来の在宅看護を見据えて、広く学ぼう!

副実行委員長 井上 栄子

平成26年10月2日（木）・3日（金）に山形テルサで、学術集会を開催します。学術集会のメインテーマは、『つなげよう ひろげよう 在宅看護』としました。今年度からこれまでの10領域から7領域に統合される初めての学会となり、日本看護協会と山形県看護協会が共同開催いたします。



在宅看護では、疾病・障害を持ちながら、地域で生活をしている小児から高齢者とその家族および介護者への看護研究を扱います。ぜひ参加していただき、意見交換や新しい知識や情報を得て実践に活かしていただければと思います。少子高齢化多死社会を支える私たち看護職の役割は益々重要となります。医療提供体制の再構築、地域包括ケアシステムの整備等、社会の変化は大きく変わります。在宅看護や病院と地域の連携と協働は、これからの看護では重要課題であります。研究発表は、多職種連携における看護の役割やがん療養者のエンドオブライフケア、退院支援、家族支援、訪問看護システム等多岐にわたっています。

1日目の基調講演は、国立がん研究センター名誉総長・山形大学学長特別補佐・山形大学医学部脳神経外科学教授の嘉山孝正氏より「在宅医療の未来」を、2日目の特別講演Ⅰに、全国訪問看護事業協会事務局長の宮崎和加子氏より「訪問看護の醍醐味」を、特別講演Ⅱは、日本看護協会常任理事の齋藤訓子氏より「診療報酬・介護報酬にみる訪問看護の展望」を、そして本学会学術集会の最後を飾る特別講演Ⅲとして、日本看護協会会長の坂本すが氏より「在宅看護の未来」と題してご講演をいただきます。また、県民公開講座として、「チームでとりくむ在宅ケア～その人らしく過ごすために～」のシンポジウムの座長に日本訪問看護財団常務理事の佐藤美穂子氏に、シンポジストには、医師の立場から八鍬直氏他にお願いしております。そして看護師の資質の向上に向け、「口腔ケア」「痛みのケア」「排泄ケア」の技術交流会を認定看護師が中心に展開していきます。他に東日本大震災復興支援事業として、パネル展示と交流集会「3.11から今—そして、これから」を行います。

有意義な学術集会になるように運営委員一同、心をひとつにして運営していきたいと思います。ぜひ多数のご参加をお願いいたします。



平成26年度 看護職のワーク・ライフ・バランス推進ワークショップ開催

山形県看護協会は、平成25年度より看護職のワーク・ライフ・バランス推進ワークショップ事業を実施し、県内の6病院が参加し取り組んでおります。平成26年度は、新たに2病院が参加し8病院で取り組みます。

1回目のワークショップは、9月11日・12日に開催し、1日目の午前の講義については公開講座といたしますので、ぜひご参加ください。

詳細については、後日ご案内の予定です。

9月11日
公開講座
参加者募集!
9:30～12:30



参加病院

遊佐病院 米沢市立病院
置賜総合病院 篠田総合病院
公立高島病院 鶴岡市立荘内病院
＜平成26年度より参加＞
北村山公立病院 酒田医療センター

理事会の開催報告

平成26年5月22日（木） 午前 第2回理事会

主な審議事項

1. 平成26年度山形県看護協会選挙管理委員の選出について
2. 平成26年度山形県看護協会通常総会の運営について
3. ハラスメント防止に関する規定(案)ハラスメント委員会規程(案)について

平成26年6月26日（木） 午後 第3回理事会

主な審議事項

1. 平成26年度理事会の日程について
2. 平成26年度第1回職能・常任・特別・認定合同委員会について
各委員会の諮問審議事項について
3. 平成26年度山形県健康福祉部との業務推進懇談会について

平成26年7月31日（木） 第4回理事会

主な審議事項

1. 平成26年度山形県健康福祉部との業務推進懇談会について
2. 「訪問看護会館」竣工式の開催について

5月～8月の山形県看護協会事業実施状況について

平成26年5月17日（土）
「看護の日」のイベント「山形県看護協会健康まつり」の開催

平成26年5月21日（水）～7月24日（木）
山形県看護実習指導者講習会

平成26年5月29日（木）
山形県助産師出向支援モデル事業推進協議会

平成26年6月3日（火）～8月6日（水）
認定看護管理者教育課程ファーストレベル

平成26年6月26日（木）午前
新・旧役員の引き継ぎ

平成26年7月5日（土）
平成26年度第1回職能・常任・特別・認定合同委員会及び支部長会議

平成26年7月16日（水）
平成26年度第1回支部担当役員との打ち合わせ会

平成26年7月28日（月）
福島県「県外避難者の心のケア事業」支援者研修会

平成26年8月1日（金）
東北地区看護職のWLB推進ワークショップファシリテーター研修会

平成26年8月2日（土） 看護学生フレッシュ説明会

平成26年8月14日（木） 夏まつり

INFORMATION

◆「日本看護協会会員手帳2015年版」の予約注文について

ご希望の場合は、施設ごと取りまとめ、下記まで電話にてお申込みください。 <電話>山形県看護協会 担当 石山

※申込み期限：10月3日（金）（023-685-8033）

①定価：1部 1,296円（消費税込） ②送料：無料（県協会取り纏め分のみ）

◆平成26年10月19日（日）山形市遊学館において「チェリアフェスティバル」が開催されます。

当協会は、「看護の心」普及推進委員会と「まちの保健室」推進委員会の協力を得て、健康チェック・健康相談、そして「看護師への道」説明と進路相談、合わせて白衣を着ての記念撮影を行います。

他団体によるワークショップやフリーマーケット等に加え、特別講演は、講師：にしゃんた氏の「みんな地球家族」となっています。会員の皆様のご参加お待ちしております。

◆訪問看護ステーションむらやまで、ご利用様のご家族より30万円のご寄付をいただきました。訪問看護ステーションむらやまで訪問活動に使ってくださいとの温かいお気持ちに、心から感謝申し上げます。

◆元会員、石沢セイ子【保健師】さんより山形県看護協会にとても素敵な絵画をご寄付いただきました。ありがとうございました。「紅葉」と題する作品で、平成18年県美展で奨励賞を受賞されたそうです。1階多目的ホールに展示しておりますので、是非ご覧ください。



ナースセンターだより

看護師等職場説明会

平成26年5月3日（土祝）、山形テルサアプローズで「看護師等職場説明会」が開催されました。

今年度も、参加対象を県内・外の看護学校に在学する平成27年3月卒業見込みの看護学生、再就業をお考えの看護職、また未就業の看護職とし、就職活動中の看護学生等とし、より詳しい看護内容や採用条件を聞くことができる説明会としました。また、今年度より、訪問看護の仕事紹介コーナーを設け、在宅看護についての説明を行いました。

今回は、48病院、求職者144名の参加があり、就職活動の参考になったのではないかと思います。

参加者からは、最終学年向けに対象を絞ってあるため、就職先・就職活動についてのイメージを固めることができた、実際に働いている方のお話を聞くことができてよかった等の感想をいただきました。

県内就職につながることを願っております。



看護学生フレッシュ説明会

平成26年8月2日（土）、山形テルサアプローズで「看護学生フレッシュ説明会」が開催されました。

昨年に引き続き2回目の開催となり、43病院の参加がありました。参加者は看護学生、中高生等併せて、107名でした。

この説明会は、就職活動前の看護学生1・2年生（大学3年生）を対象としており、これから就職先を決めていくに当たり、いろいろな情報を得ようと、たくさんのブースをまわり、情報収集しておりました。

また、中・高校生への進路相談のコーナーでは、中・高校生17名の参加がありました。参加した中・高校生のみなさんからは、パンフレットや動画を見て、今まで気づかなかった魅力を知り、関心が広がった、山形の病院を知るいい機会になった等の感想をいただきました。

早い時期に県内病院の魅力を知ってもらうことで、県内就職また、一緒に働く看護職が増えることを願っております。



東北地区ファシリテーション研修会

平成26年8月1日、東北6県の看護協会担当者と、ワークライフバランス推進ワークショップ支援者が一堂に集まり、「東北地区ファシリテーション研修会」を山形県看護協会会館で開催しました。山形県看護協会では、9月11日・12日に2回目のワークショップ開催をします。

今回、日本看護協会より小村由香先生、三友堂病院財務部長兼人事部長の田林義則先生を講師に迎え、ファシリテーターの役割とポイント、インデックス調査のデータ分析等を詳しく、わかりやすくお教えいただきました。グループワークでは、東北各県担当者・支援者間の情報交換を活発にできて交流も深まったのではないかと思います。



訪問看護師養成講習会公開講座のお知らせ

6月26日より、平成25年度「訪問看護eラーニング」を活用した訪問看護師養成講習会が始まりました。

今年度は、受講者14名が現在頑張っています。訪問看護にご興味のある方は、公開講座にぜひお申込みください！お待ちしております。

【公開講座】

- 平成26年9月6日（土）9:30～15:30
在宅療養と社会資源
事例を通じた社会資源の活用
- 平成26年10月11日（土）9:30～15:30
緩和ケアの実際
在宅における終末期の看護

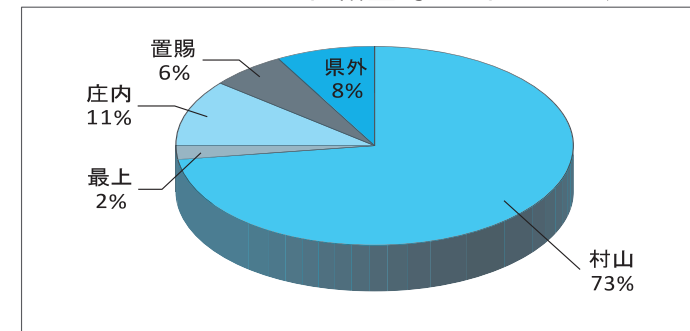
お申込み：山形県看護協会 事業課 TEL:023-685-8033



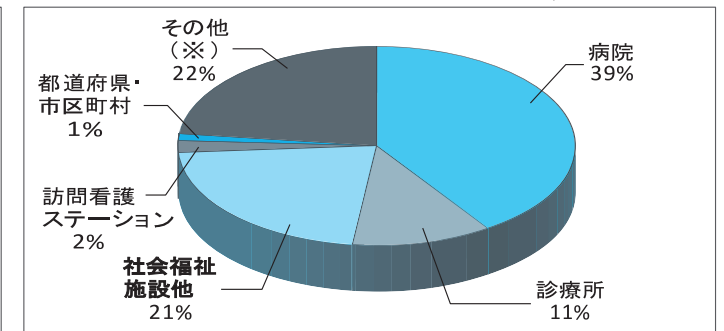
平成25年度山形県ナースセンター事業実績

平成25年4月1日
～平成26年3月31日

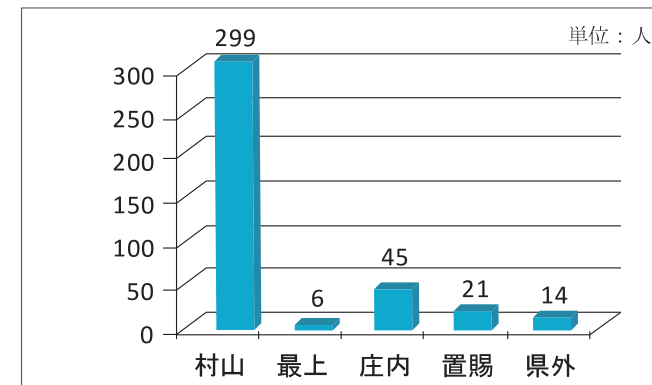
地域別求職登録者割合（n=1,025）



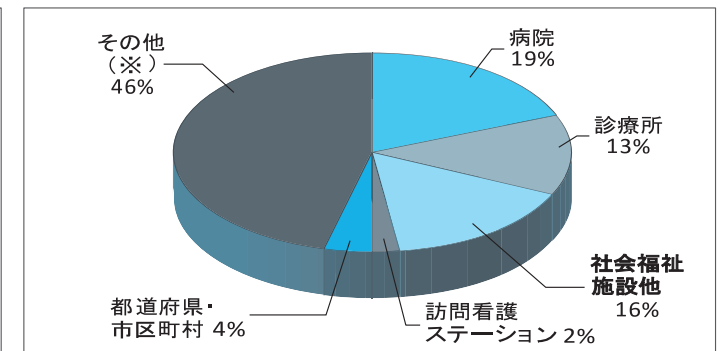
求人登録者施設種別割合（n=1,822）



地域別就業者数



就業者施設別割合（n=385）



（※）その他とは、会社・事業所、健診センター、保育園・幼稚園、救護（イベント）などである。

e-ナースセンター に登録しよう!!



スマートフォン
からぜひ
ご登録ください



山形県看護協会HPから、登録票をダウンロードできます。郵送・FAXでも受付しています。

①こんな時は必ずナースセンターへご連絡ください。

- 1) 就職先が決まった時（自己就職・職安就職も含む）
- 2) 氏名・住所・電話番号が変わった時
- 3) 求人施設で採用が決まった時や、充足した場合

②登録有効期間は、求人・求職ともに6ヵ月です。

継続の場合は更新の手続きが必要ですので、ご連絡ください。

携帯サイト 山形ナースセンターだより

を活用しよう!!



QRコードから求人情報を
チェックしてみよう!



詳しくは、PC・携帯から
「山形ナースセンターだより」を検索!!

山形ナースセンターだより 検索

山形県ナースセンターにおける求職登録

職種別登録状況

平成26年8月11日現在

職種	保健師	助産師	看護師	准看護師	合計
登録者数	22	6	208	29	265

内訳（登録265名のうち）
未就業登録者 142人
就業中登録者 118人
有資格学生登録者 2人
無資格学生登録者 3人

山形県ナースセンター（山形県看護協会内）
e-mail:yamagata@nurse-center.net 直通 ☎ 023-646-8878

平成26年度

「看護の日」「看護週間」事業

看護の日イベント

健康まつり

ー看護の心で笑顔の花を咲かせようー

5月12日は国の制定する「看護の日」です。

5月17日(土)山形県看護協会では「健康まつり」を開催しました。より健康な生活のための食事づくり、笑って健康づくり(ラフターヨガ)、介護を受けない体づくり、パネル展示など、多くの参加者で賑わいました。



↑健康まつり看板



→将来の私



→骨、元気?



→あなたの手、きれいですか



↑ポーズ決まった!!



←ナースになったばく・わたし



←一体調管理バッチリ



座るの大変な代案



↑ハイ、ハイ、ハイで健康維持



↑ハンドマッサージ
ホッとするね→



夏まつり 「山形大花火大会鑑賞会」

8月14日(木)、山形県看護協会3階第1研修室を一般の方々に開放し、毎年恒例の山形大花火大会鑑賞会を会館の中から楽しみました。

ご家族で参加の方が多く、車椅子の方や子どもさんも安心してゆっくり花火鑑賞ができると、141人の参加がありました。

子どもたちはアンパンマンやポニョ、トトロのDVD上映もあり、花火とともに大変好評でした。

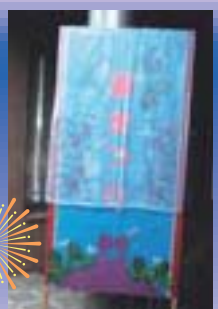
来年から山形大花火大会開催も危ぶまれることから、手作り看板も今年で一旦閉幕のカーテンを下ろしました。



←DVD上映も子どもたちに大人気!



↑ゆっくり特等席で観賞



←会場前の手作り看板もカーテン閉幕



↑会場前でトトロとメイちゃんがお迎え!

編集
後記

新メンバーを加えての活動が始まりました。会員の皆様及び一般の皆様にも愛される「山形いびき」を作っていきたいと思ひます。